



ニュースレター限定 社長コラム

『やらないことを決めることで、やりたいことができるようになる』

代表取締役 近藤 千奈美

お正月も過ぎはや1か月。新年の抱負は実行されていますでしょうか？

毎年、「今年は〇〇をしたい」「今年は〇〇〇〇に行きたい」とさまざまな希望が私にも沸き起こってくるのですが、なにかと忙しさを言い訳にして計画倒れになりがちです。

なので、今年は「やらないことをより多く実行」し、「やりたいことは絞り込んで1つか2つを確実に実行」をするように心がけています。

「やりたいこと」をするためには、「やらないこと」を明確化して本当にやらないところまで持ち込まないと、やりたいことの時間が取れない＝気持ちの余裕が生まれないのです。何かしらの基準を持って意識的に「やらないこと」を決め、本当にやらないところまで実行するのは意外に難しいな、と感じます。

皆様はいかがでしょう？

時間不足でできなかったことで問題がなかったことについてはやめていく。まずはこのスタンスをキープ。自分の役割責任から、これをする事で自分はどれだけの成果を会社にもたらすことができるのか？をサッと判断して、自分でやるのか、他の方や方法に変えるか、完全にやめるかを決めるようにしています。事故が起きたら自分の判断ミス、と考えて前進することで判断基準が明確になってくる。

すべては自分次第、ということでしょうか。2月も明るく前進、前進！（笑）



技術翻訳と機械エンジニアリング、技術者派遣はコンテックス

株式会社コンテックス



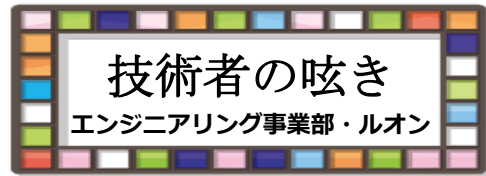
Phone : 042-744-1080

e-mail : tsd@kontecs.com

URL : <https://www.kontecs.com>



『電気自動車の普及』

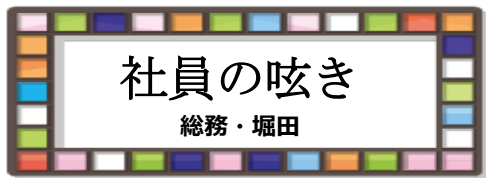


現在、電気自動車の競争が厳しくなっています。新しい技術により、電気自動車には多くの最新機器が装備され、将来的には移動手段というだけでなく、映画を見たり、音楽を楽しんだりする場所として使用されます。

しかし、電気自動車にはまだ解決しないといけない問題があります。たとえば、ガソリン車が満タンにするには5分しかかかりませんが、電気自動車では1時間以上かかりますし、全国的なバッテリー充電システムを構築する必要があります。さらに、台数が数百万台に達すると、夏季・冬季のピーク需要に電源が追いつかなくなる可能性があります。

多くの方は夜間に車を充電するでしょう。その場合、数百万台の電気自動車が同時に充電され、ピーク時には電力が不足するため、非常に困難が予想されます。

こういった課題は多いですが、科学の進歩により電気自動車の普及が近づいていると思います。



『山ガール復活!?!』



以前は定期的に友人や家族と近場の山に出かけていましたが、ここ数年はすっかり足が遠のいてしまいました。

ステイホームで家にいる時間が増え、歩くこと自体が減ってしまった時期もありました。

久しぶりにたくさん歩くとすぐに筋肉痛になり、山へ出かける自信がなくなってしまうことが理由です。

普段から歩くことが大好きなので、1日1万歩を実践し、まずは日常生活で筋力を鍛え、山登りしても不安のない体力をつけることが当面の目標です。

秋頃には紅葉のきれいな山へ登れるよう日々地道な努力と準備をしています。

ニュースレター限定 営業マンのコラム

『リモート会議通訳①』

コンテンツサービス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



コロナ以降、直接面談の機会が減少し、代わりにリモートでの面談、会議が一般的になりました。

海外との打ち合わせも手軽にでき、資料なども画面共有すればプレゼンも可能なほど、この分野は一気に進化しました。

それに伴い、一時は落ち込んでいた通訳案件もリモートに切り替わって復活しました。

ここでお客様からお問い合わせがあったのが、「時間単位での通訳料の相談」です。

移動時間が無くなったので、その分通訳実施の時間に充てられるのでは? というお問合せですね。

これは確かに実働時間からすると短くなるのでその分安価になるのではないかと当然の疑問だと思います。

しかし、通訳料が全日、半日単位なのは、その実働の前の準備時間を考慮してのことなのです。

1時間の通訳にも大量の資料に目を通したり、用語をチェックして頭に入れる等の業務があります。

常に同じ内容の通訳をしているわけではないので、都度その内容に合った用語を記憶しているのが隠れた通訳者さんたちの仕事なのです。

教えて！

翻訳 Q&A



Q: Q.社会人になると研修や教育の一環として講習会に参加する機会が度々あります。「講習会」は日本語で一般的に「セミナー」と呼ぶイメージがあるのですが英語ではどのように表現するのでしょうか？

A. 「講習会」と一言と言っても形式や内容は様々ですので、それらを考慮して単語を使い分ける必要があります。では一つずつ見ていきましょう。

- **seminar**…元々は「教師や専門家、またはグループで研究や議論のため集まる会」という意味「大学のゼミ」に近いニュアンスで使用されていましたが、今では日本語の「セミナー」のようにビジネススキルなどを養う勉強会というニュアンスでも使用されます。この場合は講師の話や解説を聞く講義形式の会であることが多いですね。
- **workshop**…話を聞くだけでなく、実際に手を動かしたり話し合いを交えたりする勉強会知識の習得だけでなく、学んだことを共有し振り返る時間が設けられることが多いです。日本語のビジネスシーンにおける「セミナー」のイメージに最も近い表現ではないでしょうか。
- **meet-up**…"seminar"や"workshop"よりもカジュアルな集まり知識の習得よりも、成功体験やノウハウについてカジュアルに話し合いをする場といった意味合いですね。特に IT 分野でよく使用されています。

また最近ではオンラインを通じて行うセミナーを意味する"**webinar**"という言葉もよく見かけるようになってきました。"web"と"seminar"をくっつけた造語なのですが英文のビジネスメールのようなオフィシャルな場面でも使用される表現です。今後新しいスタイルの講習会が生まれれば新しい表現も誕生するかもしれませんね。



HP にバックナンバーが掲載されています♪

コンテックスHP
下記 QR コードまたは
『技術翻訳
コンテックス』で検索！

